

問題1	<p>（歴史的・社会的論考文の読解）</p> <p>産業革命をめぐる歴史的評価と生活水準論争を題材とした論考文を用い、論理的文章を正確に読み解く力を測ることを目的としている。</p> <p>本文では、産業革命の意義を一面的に捉えるのではなく、複数の立場や評価が提示され、それらが歴史的背景や社会構造と結びつけて論じられている。こうした文章構成を踏まえ、筆者の問題意識や論の展開を全体として把握できているかを問うている。</p> <p>設問では、語句や表現の文脈に即した意味理解、文章中の空欄補充、具体例と抽象的議論との関係把握、筆者の見解の整理などを通して、部分的理解にとどまらず、文章全体の論旨を踏まえて判断する力が求められている。</p> <p>また、歴史的事象を扱った文章であっても、単なる知識ではなく、文章そのものから読み取れる内容を根拠として思考する姿勢が身につけているかを評価する。</p>
問題2	<p>（社会制度をめぐる論理的文章の読解）</p> <p>陪審制・裁判員制度をめぐる議論を題材とした論理的文章を通して、抽象度の高い議論を筋道立てて理解する力を測ることを目的としている。</p> <p>本文では、実験結果や社会心理学的知見を踏まえながら、多数決と全員一致の判断の質的な違いが論じられており、論の展開には段階的な説明と因果関係の把握が求められる。</p> <p>設問では、用語や比喻表現の意味理解に加え、段落間の論理関係、筆者の主張の根拠、具体例が果たす役割などを的確に捉えられているかを問うている。</p> <p>これにより、文章に示された情報を整理し、筆者の結論に至る思考過程を追う力や、複数の要素を関連づけて理解する力が備わっているかを評価する。</p>